

2022年3月期 第1四半期決算 カンファレンスコール資料

2021年8月4日

日本ライフライン株式会社

2022年3月期 第1四半期 決算概要

常務取締役管理本部長

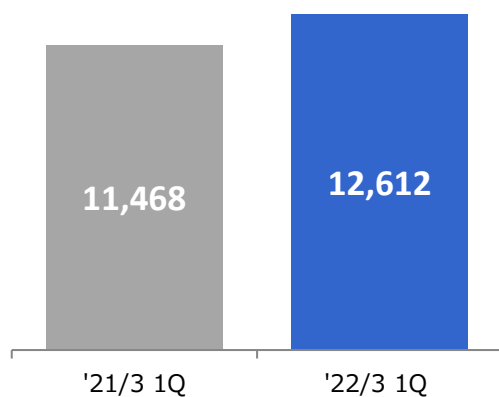
山田 健二

2022年3月期 第1四半期 連結業績ハイライト

- ・ 新型コロナウイルスの影響は残るも、症例数は回復傾向にあり、売上高が増加
- ・ 営業利益は、売上高の増加・売上総利益率の改善により、治験費用等の販管費の増加を吸収し、前年同期を大幅に上回る
- ・ 2021年4月の血液浄化事業の譲渡により、事業譲渡益を営業外収益として計上

売上高

対前年同期 +10.0%



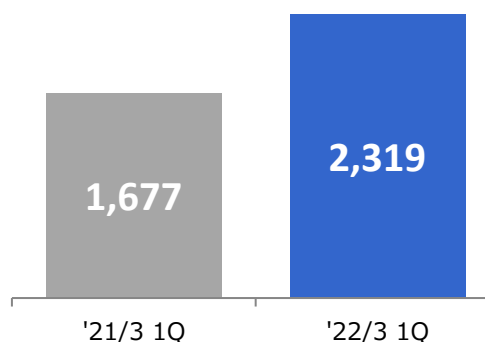
(百万円)

実績

実績

営業利益

対前年同期 +38.3%

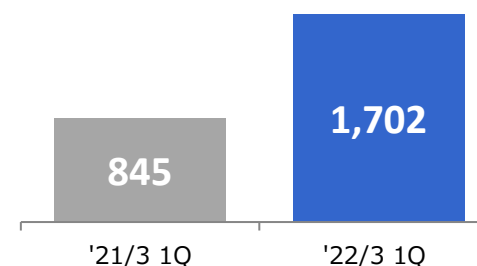


実績

実績

親会社株主に帰属する 四半期純利益

対前年同期 +101.3%



実績

実績

2022年3月期 第1四半期 連結業績

- ・ 売上総利益率は、自社製品比率の上昇等により、前期から引き続き改善。対前年同期では3.3pt上昇（自社製品比率 51.4%）
- ・ 営業活動の増加に加え、一時費用としてDCB*の治験費用等約2.9億円の計上により、販管費が増加するも、前年同期に比べ大幅増益

(百万円)	2021/3期 1Q 実績	2022/3期 1Q 実績	対前年同期
売上高	11,468	12,612	+10.0%
売上総利益	6,236	7,280	+16.7%
売上総利益率	54.4%	57.7%	+3.3pt
営業利益	1,677	2,319	+38.3%
営業利益率	14.6%	18.4%	+3.8pt
経常利益	1,291	2,417	+87.3%
経常利益率	11.3%	19.2%	+7.9pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	845	1,702	+101.3%
四半期純利益率	7.4%	13.5%	+6.1pt

※DCB: Drug Coating Balloon

新型コロナの影響は残るも症例数は緩やかに回復

- ・ 医療機関での医療体制確保の取り組みが継続
- ・ 直前第4四半期に比べ、EP/ABLを中心に症例数は明確な回復傾向となる

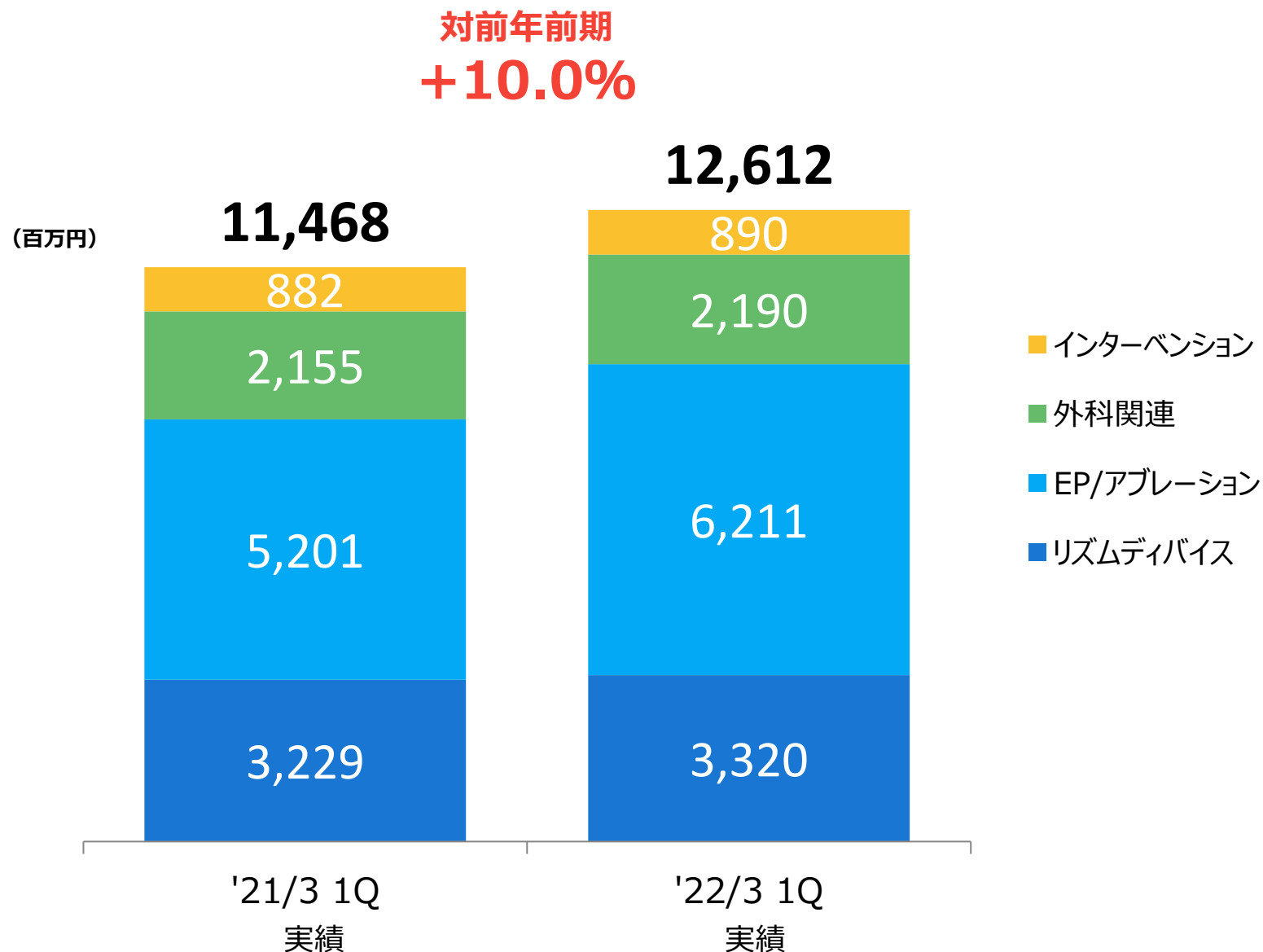
症例数の回復を受け、自社製品が大きく伸長

- ・ EP/アブレーションや外科関連の自社製品の売上高が増加
- ・ 自社製品比率は51.4%に上昇（前年同期48.5%）

一部商品の販売終了の影響があるも増収

- ・ 外科関連：血液浄化事業の譲渡による販売終了（2021年3月）
- ・ インターベンション：貫通用カテーテルの販売終了（2020年12月）

2022年3月期 第1四半期 品目別売上高



リズムデバイス 対前年同期 +2.8%

- ペースメーカー関連は、BSC社*商品が評価され販売数量が増加
- オンリーワン商品のS-ICDが堅調に推移したものの、一般的なICD及びCRT-Dが競合製品の影響を受け販売数量が減少
- CRT-Dの独自のモニタリング機能「HeartLogic」を訴求し拡販に努める

※ ポストン・サイエンティフィック社

EP/アブレーション 対前年同期 +19.4%

- AF（心房細動）のアブレーション治療の症例数が回復し、「BeeAT」、「RFニードル」等を中心として全般的に好調に推移し、売上高が増加
- 「HeartLight」は、次世代品「HeartLight X3」の2021年8月の上市を見据えた拡販が奏功し、売上高が増加
- スティラブルシース「Leftee」は高い評価を得て、症例回復を大幅に上回り販売数量が増加

外科関連 対前年同期 +1.6%

- ・ オープンステントグラフト「Frozenix」の低侵襲性が評価され、販売数量が増加。人工血管「J-Graft」も好調に推移し、販売数量を伸ばす
- ・ 血液浄化事業の譲渡による売上高の減少を既存品の伸長により吸収

インターベンション 対前年同期 +0.9%

- ・ PI関連は、競合品の影響等によりガイドワイヤー、バルーンカテーテルの売上高が減少。2020年12月で販売を終了した貫通用カテーテルも減収要因となる
- ・ 薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro」は販売数量が微増、CASTLE Studyの良好な臨床結果を今後の拡販に生かす
- ・ 消化器関連は肝臓治療用ラジオ波焼灼電極針、大腸ステントが伸長。第2四半期の胃・十二指腸ステントの上市により、一層の市場開拓を図る

(資料) 品目別売上高 (実績 対前年同期)

(百万円)	2021/3月期		2022/3月期				備考
	1Q 実績		1Q 実績				
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
ペースメーカー関連	1,424	12.4%	1,520	12.1%	95	6.7%	
ICD関連	1,750	15.3%	1,706	13.5%	△ 43	△2.5%	
その他 * ¹	54	0.5%	92	0.7%	37	69.3%	AED含む
リズムデバイス 計	3,229	28.2%	3,320	26.3%	90	2.8%	
EPカテーテル * ¹	3,789	33.0%	4,502	35.7%	713	18.8%	心腔内除細動カテーテル含む
ABLカテーテル * ¹	241	2.1%	273	2.2%	31	13.0%	内視鏡レーザーアブレーションカテーテル含む
その他 * ¹	1,170	10.2%	1,435	11.4%	265	22.7%	高周波心房中隔穿刺針含む
EP/ABL 計	5,201	45.4%	6,211	49.2%	1,010	19.4%	
人工血管関連 * ¹	1,997	17.4%	2,150	17.1%	152	7.6%	ステントグラフト（腹部）、オープンステントグラフト含む
その他 * ²	157	1.4%	39	0.3%	△ 117	△74.6%	血液浄化関連、人工肺関連含む
外科関連 計	2,155	18.8%	2,190	17.4%	35	1.6%	
PI関連 * ¹ * ³	842	7.3%	802	6.4%	△ 39	△4.7%	貫通用カテーテル、薬剤溶出型冠動脈ステント、心房中隔欠損閉鎖器具含む
消化器関連 * ¹	39	0.3%	87	0.7%	47	119.2%	大腸ステント、肝癌治療用ラジオ波焼灼電極針含む
インターベンション 計	882	7.7%	890	7.1%	7	0.9%	
合計	11,468	100.0%	12,612	100.0%	1,143	10.0%	

*¹ 自社製品含む

*² 外科関連の“その他”は、従来の“人工弁関連”及び“血液浄化関連”を含めて表示しております。

*³ インターベンションの“PI（percutaneous intervention）関連”は、従来の“その他”を含めて表示しております。

(資料) 連結損益計算書 (実績 対前年同期)

(百万円)	2021/3月期		2022/3月期			
	1Q 実績		1Q 実績			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	11,468	100.0%	12,612	100.0%	1,143	10.0%
売上原価	5,231	45.6%	5,331	42.3%	100	1.9%
売上総利益	6,236	54.4%	7,280	57.7%	1,043	16.7%
販管費及び一般管理費	4,558	39.8%	4,960	39.3%	401	8.8%
営業利益	1,677	14.6%	2,319	18.4%	641	38.3%
営業外収益	239	2.1%	160	1.3%	△ 78	△32.9%
営業外費用	625	5.5%	62	0.5%	△ 563	△90.1%
経常利益	1,291	11.3%	2,417	19.2%	1,126	87.3%
特別利益	0	0.0%	1	0.0%	0	234.8%
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	0	300.4%
税引前利益	1,291	11.3%	2,418	19.2%	1,127	87.3%
税金費用	445	3.9%	715	5.7%	270	60.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	845	7.4%	1,702	13.5%	856	101.3%

(資料) 品目別売上高 (実績 対計画)

(百万円)	2022/3月期		2022/3月期				備考
	1Q 実績		上期 計画		通期 計画		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
ペースメーカー関連	1,520	12.1%	3,073	12.2%	6,205	11.7%	
ICD関連	1,706	13.5%	3,430	13.6%	7,085	13.4%	
その他 * ¹	92	0.7%	145	0.6%	290	0.5%	AED含む
リズムデバイス 計	3,320	26.3%	6,649	26.4%	13,581	25.6%	
EPカテーテル * ¹	4,502	35.7%	8,884	35.3%	18,577	35.1%	心腔内除細動カテーテル含む
ABLカテーテル * ¹	273	2.2%	541	2.2%	1,428	2.7%	内視鏡レーザーアブレーションカテーテル含む
その他 * ¹	1,435	11.4%	2,786	11.1%	5,729	10.8%	高周波心房中隔穿刺針含む
EP/ABL 計	6,211	49.2%	12,212	48.6%	25,735	48.6%	
人工血管関連 * ¹	2,150	17.1%	4,272	17.0%	9,350	17.6%	ステントグラフト（腹部）、オープンステントグラフト含む
その他 * ²	39	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	血液浄化関連、人工肺関連含む
外科関連 計	2,190	17.4%	4,272	17.0%	9,350	17.6%	
PI関連 * ¹ * ³	802	6.4%	1,812	7.2%	3,785	7.1%	貫通用カテーテル、薬剤溶出型冠動脈ステント、心房中隔欠損閉鎖器具含む
消化器関連 * ¹	87	0.7%	197	0.8%	526	1.0%	大腸ステント、肝癌治療用ラジオ波焼灼電極針含む
インターベンション 計	890	7.1%	2,009	8.0%	4,311	8.1%	
合計	12,612	100.0%	25,144	100.0%	52,979	100.0%	

*¹ 自社製品含む

*² 外科関連の“その他”は、従来の“人工弁関連”及び“血液浄化関連”を含めて表示しております。

*³ インターベンションの“PI（percutaneous intervention）関連”は、従来の“その他”を含めて表示しております。

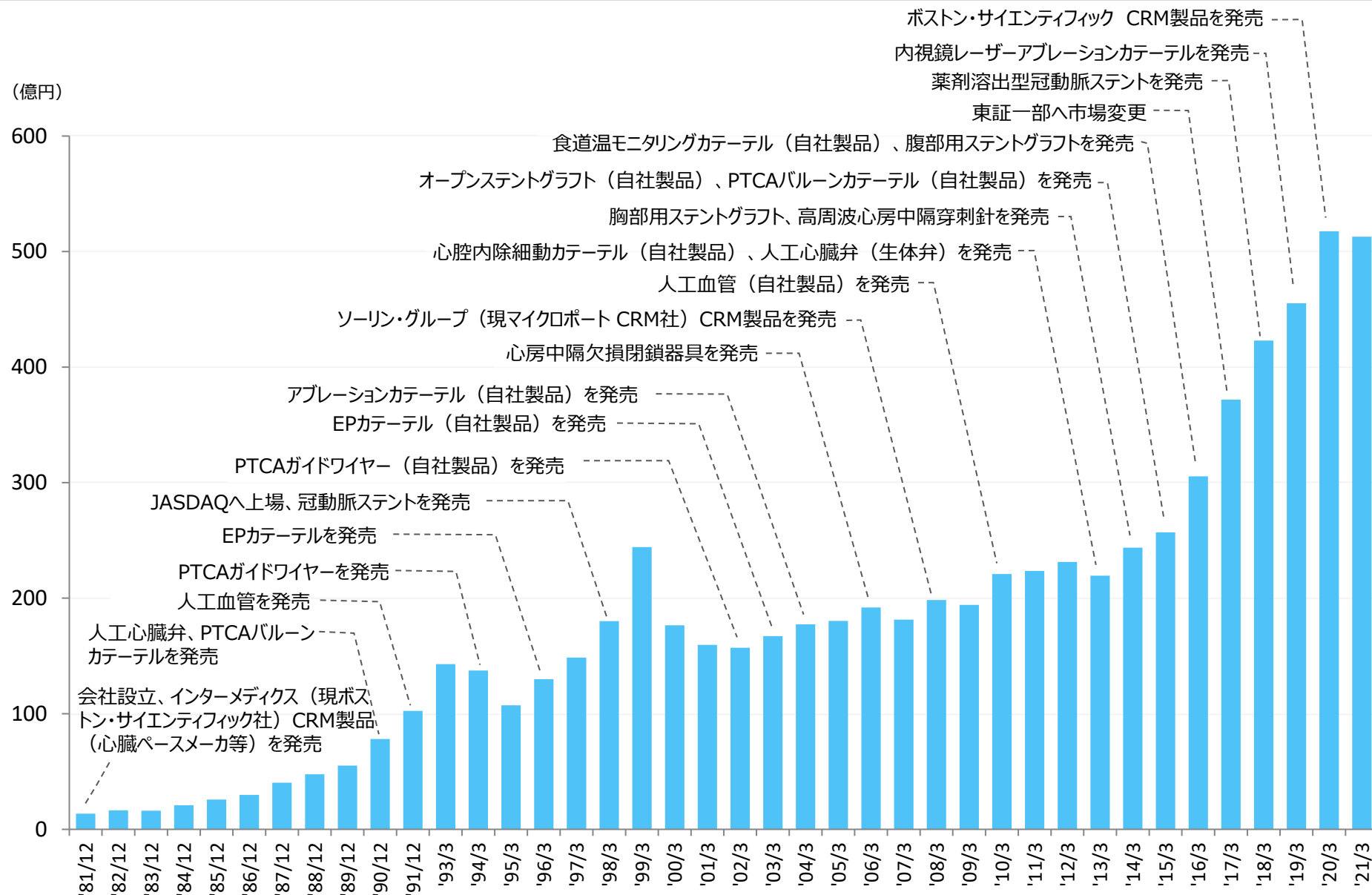
(資料) 連結損益計算書 (実績 対計画)

(百万円)	2022/3月期		2022/3月期			
	1Q 実績		上期 計画		通期 計画	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	12,612	100.0%	25,144	100.0%	52,979	100.0%
売上原価	5,331	42.3%	10,717	42.6%	22,522	42.5%
売上総利益	7,280	57.7%	14,427	57.4%	30,456	57.5%
販管費及び一般管理費	4,960	39.3%	10,028	39.9%	19,831	37.4%
営業利益	2,319	18.4%	4,398	17.5%	10,625	20.1%
営業外収益	160	1.3%	206	0.8%	274	0.5%
営業外費用	62	0.5%	96	0.4%	217	0.4%
経常利益	2,417	19.2%	4,508	17.9%	10,682	20.2%
特別利益	1	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
特別損失	0	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
税引前利益	2,418	19.2%	4,508	17.9%	10,682	20.2%
税金費用	715	5.7%	1,253	5.0%	3,115	5.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,702	13.5%	3,255	12.9%	7,567	14.3%

会社概要

商 号	日本ライフライン株式会社
代 表 者	代表取締役社長 鈴木啓介
本 社	東京都品川区東品川2-2-20 天王洲オーシャンスクエア
設 立	1981年2月6日
株 式	東証一部上場
証 券 コード	7575
事 業 内 容	医療用機器の製造、販売、輸出および輸入販売
資 本 金	2,115百万円
決 算 期	3月31日
従 業 員 数	連結1,167名/単体995名（2021年3月31日 現在）
事 業 所	営業拠点48ヶ所、羽田ロジスティックスセンター、関西ロジスティックスセンター、研究開発統括部、戸田ファクトリー、小山ファクトリー、市原ファクトリー、天王洲ACCADEMIA（研修センター）（2021年3月31日 現在）
連 結 子 会 社	SYNEXMED（HONG KONG）LTD.、心宜医療器械（深圳）有限公司、JLL Malaysia Sdn.Bhd.

当社沿革と売上高推移



当社は創業以来、不整脈や心筋梗塞等の心疾患を治療するための医療器具を扱っており、事業領域はリズムデバイス、EP/アブレーション、外科関連、インターベンションの4つに大別されます。

リズムデバイス

不整脈（心臓の拍動が正常よりも遅くなる、または早くなる状態）を治療する、主に体内植込み型の器具を扱います。

リズムデバイス

心臓ペースメーカ
ICD/S-ICD
CRT-P
CRT-D
AED

外科関連

本来の機能が失われてしまった血管を、外科手術により人工の器官に置き換え、治療するための器具を扱います。

EP/アブレーション

EPカテーテル
アブレーションカテーテル
心腔内除細動カテーテル
高周波心房中隔穿刺針
内視鏡レーザーアブレーションカテーテル

心臓血管 領域

外科関連

人工血管
オープンステントグラフト
ステントグラフト

EP/アブレーション

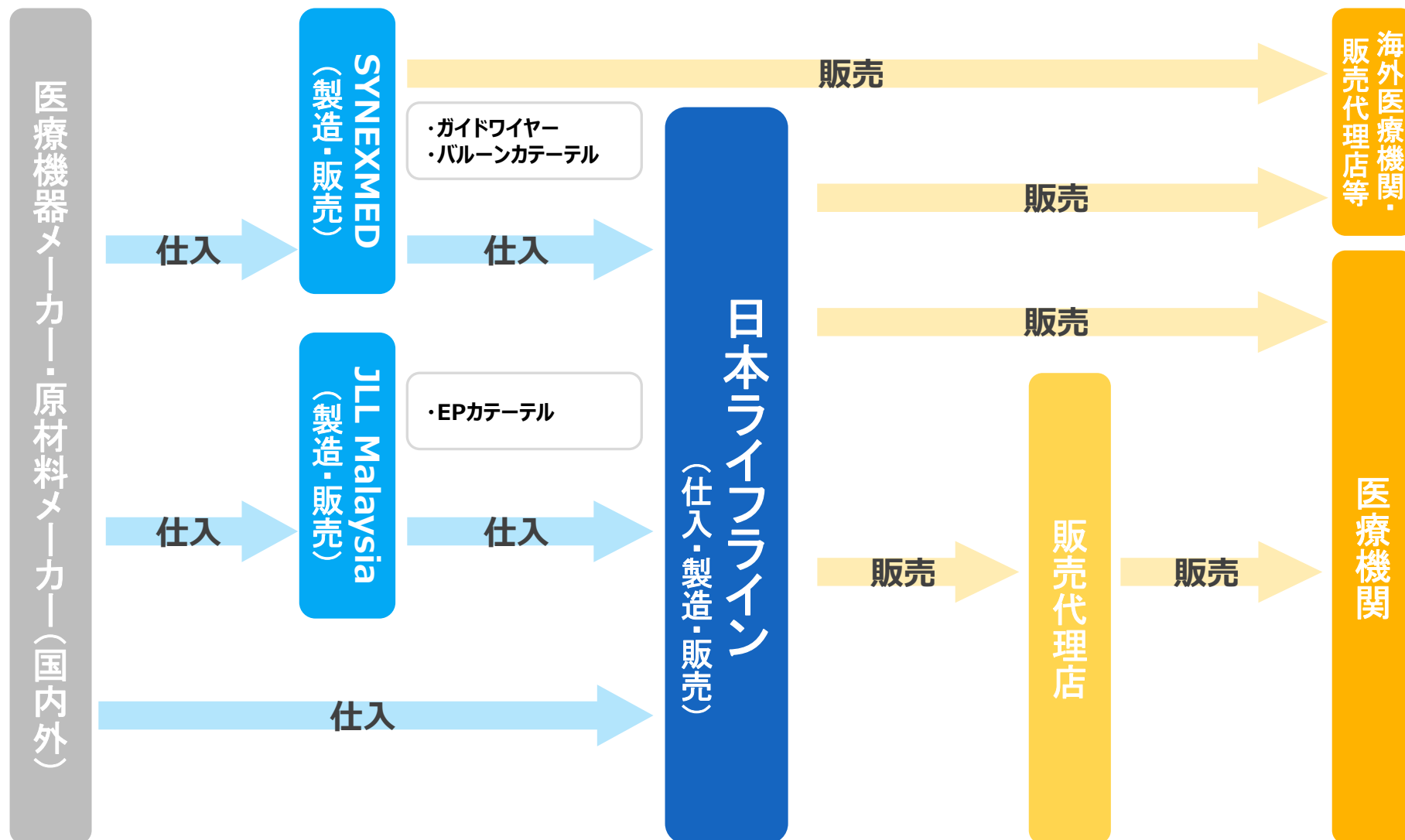
不整脈の検査や治療を行うための、ディスプレイ式の電極のついたカテーテル（細い管）を扱います。

インターベンション

ガイドワイヤー
バルーンカテーテル
心房中隔欠損閉鎖器具
薬剤溶出型冠動脈ステント
大腸ステント
肝癌治療用
ラジオ波焼灼電極針

インターベンション

カテーテル（細い管）を皮膚を通して血管に挿入し、心筋梗塞等の治療を行う器具を扱います。外科手術に比べ、患者様への負担が小さい治療法です。



心臓ペースメーカー

(Boston Scientific社製)



心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈（徐脈）に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

心臓の拍動が異常に早まる不整脈（頻脈）のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。

ICD（植込み型除細動器）

(Boston Scientific社製)



CRT-P（両心室心臓ペースメーカー）

(Boston Scientific社製)



重症心不全に対して、心臓の左右両方の心室に電気刺激を与えることで、心臓の同期不全を整えポンプ機能を改善します。

S-ICD（完全皮下植込み型除細動器）

(Boston Scientific社製)



従来のICDは静脈を介し心臓内にリードを留置するのに対し、S-ICDは全てのシステムを皮下に植込むことで血管内や心臓へ異物が留置されません。

CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカー）

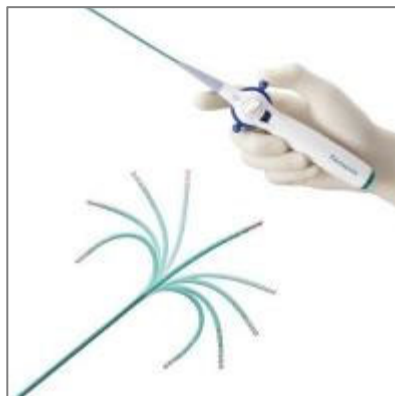
(Boston Scientific社製)



両心室心臓ペースメーカーの機能に加え除細動機能も有しており、致死性の不整脈の発生時は、本体から電気刺激を心臓内に与え治療を行います。

アブレーションカテーテル

(自社製品)



頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流で焼き切ることで治療します。

不整脈の診断や治療方法の適応を判断するための検査に用いられます。カテーテル先端に電極がついており、心臓内の電位を測定したり、不整脈を誘発させることで原因を特定します。

EP（電気生理用）カテーテル

(自社製品)



心腔内除細動カテーテル

(自社製品)



アブレーション治療の際に発生する心房細動に対し、心腔内で除細動を行うことにより、低侵襲に心房細動を停止させます。またEPカテーテルとしての診断機能も合わせ持っています。

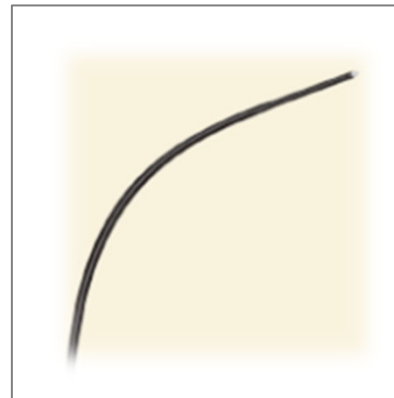
内視鏡レーザーアブレーションカテーテル (CardioFocus社製)



バルーン内部からレーザーを照射し、頻脈の原因となる部位を焼き切り治療します。カテーテル内部の内視鏡により、正確な留置および焼灼が可能です。

高周波心房中隔穿刺針

(BAYLIS MEDICAL社製)



アブレーション治療などの際に、左右の心房の間にある壁（心房中隔）に、カテーテルを通すための穴を高周波により開ける際に使用します。

人工血管

(自社製品)



開胸手術により動脈瘤などで痛んだ血管を切り取り、人工血管に置き換え治療します。

大動脈に挿入し拡張することにより血管に固定します。片側の吻合が不要なため、開胸手術を行うものの低侵襲に大動脈瘤の治療を行います。

オープンスtentグラフト

(自社製品)



stentグラフト

(ENDOLOGIX社製)



外科手術を行うことなく、足の付け根の血管からカテーテルを通じて、治療部位に留置し大動脈瘤を治療します。

バルーンカテーテル

(自社製品)



心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管（冠動脈）が詰まることが原因となる心筋梗塞や狭心症の治療に用いられます。血管の詰まった部分で風船（バルーン）を拡張させ、再度血流を確保します。

バルーンカテーテルを血管の詰まった部分に導くために用いられます。ガイドワイヤーを血管の詰まった部分の先まで通過させ、これに沿ってバルーンカテーテルを進めます。

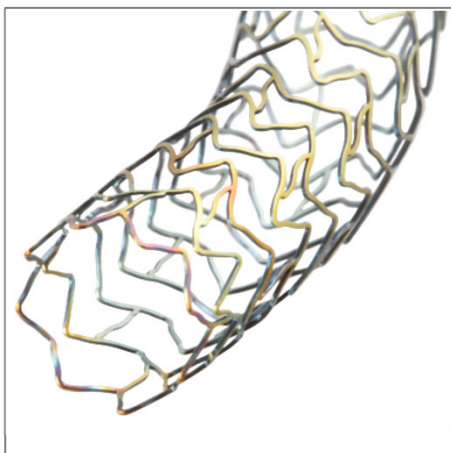
ガイドワイヤー

(自社製品)



薬剤溶出型冠動脈ステント

(BIOTRONIK社製)



血管の詰まった部分を風船（バルーン）で拡張させた後に留置し、再び詰まるのを防ぎます。また塗布された薬剤も再発防止に効果があります。

先天的に心臓の左右の心房を隔てる壁に穴が開いている疾患（心房中隔欠損症）を、外科手術を行うことなくカテーテルを用いて閉鎖栓という円盤状の器具で塞ぎ治療します。

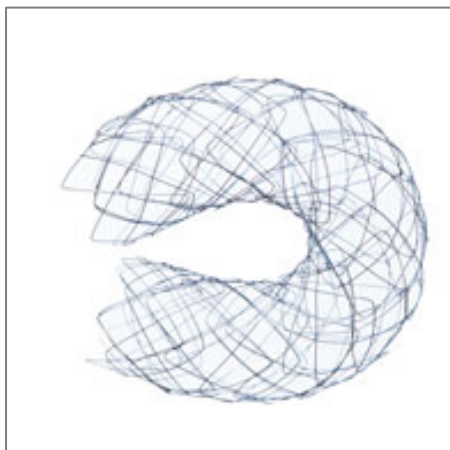
心房中隔欠損閉鎖器具

(Occlutech社製)



大腸用ステント

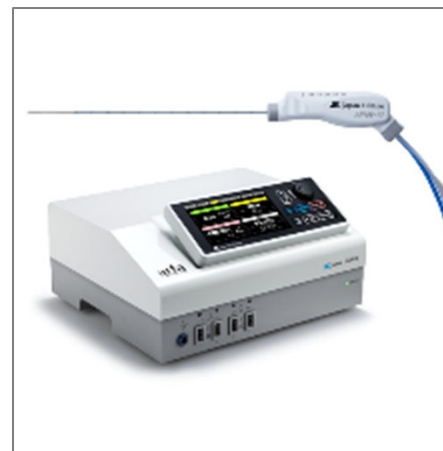
(自社製品)



癌により閉塞した大腸を押し広げるために用いられます。細いガイドワイヤーで閉塞部を通過させた後、これに沿ってステント留置器具を通過させステントを展開します。症状を大きく緩和させ、QOLの向上に繋がります。

肝臓治療用ラジオ波焼灼システム

(自社製品)



超音波(エコー)やCTで観察しながら針状の電極を経皮的に肝臓の病変組織へ挿入し、電極周囲にラジオ波による熱を発生させ病変を焼灼し治療します。

研究開発

研究開発統括部 (埼玉県戸田市)

Medical Technology Park North Square



(2018/04~)

中核工場

戸田ファクトリー (埼玉県戸田市)

Medical Technology Park South Square



(2012/01~)

量産対応

小山ファクトリー (栃木県小山市)



(2014/10~)

血管・OSGの開発・生産

市原ファクトリー (千葉県市原市)



(2011/01~)

海外工場 ①

深圳工場 (中国深圳市)

心宜医疗器械(深圳)有限公司



(2010/10~)

海外工場 ②

マレーシア工場 (マレーシアペナン州)

JLL Malaysia Sdn.Bhd.



(2020/06~)

ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、当社の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品の導入に関する、治験および薬事承認に係る事項、また発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社
経営企画室

TEL:03-6711-5214

E-Mail:ir@jll.co.jp

URL:<https://www.jll.co.jp>